

# 初秋の栃谷尾根コースで大パノラマの陣馬山へ

開催日：2025年9月20日（土） 曇りのち雨 健脚レベル2 16000歩 約10km

コース：藤野駅バス停（バス）→陣馬登山口バス停（標高200m）→栃谷登山口→栃谷尾根コース→

栃谷園地休憩所→高尾陣馬縦走コース→陣馬山（標高855m）（昼食）→和田峠コース→

和田峠（標高690m）→陣馬街道→陣馬高原下バス停（標高330m）（バス）→高尾駅バス停

参加者：市村L 熊坂SL 山田SL 勅使河原 畠 松野 松本 風間 高津佐 高橋昇 稲葉  
計11名

陣馬山の山頂は、相模原市と八王子市の境界に位置して標高は855m。この日のコースは、上りは相模原市、下りは八王子市の標高差655mの健脚レベル2低山ハイキングです。気象情報は、相模原市緑区は終日曇りで最高気温25.9℃。八王子市も終日曇り、最高気温26.3℃。陣馬山は曇りのち小雨（15時頃、雨量0.3mm）。予定では、「陣馬山から木段を歩いて13時15分に和田峠へ、ここからは舗装道路で14時20分に陣馬高原下バス停に下山」、雨は下山後と判断してハイキングを実施しました。

ところが、山の天気は変わりやすい。白馬のモニュメントが出迎えてくれた山頂で集合写真を撮り終えたら雨が降ってきました。それでも歩きやすい木段と舗装道路での下山コース、事故なく予定より30分早い13時50分に陣馬高原下バス停へ下山しました。上りを60歳標準コースタイム2時間の約2割増し2時間25分で設定、結果は蒸し暑い中を5回の小休憩をしても約1割増しの2時間11分で上り切りました。タイトルの「初秋の栃谷尾根コース」と「大パノラマの陣馬山へ」とはなりませんでしたが、みなさんの健脚ぶりで山頂についてからの雨が印象に残る「雨も楽し」のハイキングでした。



# 藤野駅(バス)～陣馬登山口バス停9時28分～9時53分栃谷登山口

藤野駅の階段を下りてバス停へ、9時6分発の和田行に乗車。ハイカーは思っていたより少なく、臨時バスの増発はなし。9時12分、陣馬登山口バス停に到着、乗客の半数以上が下車しました。陣馬登山口と刻まれた石碑がある隣の空き地で、熊坂サブリーダーのリードでストレッチ。曇り、気温21℃、風はほとんどなし。9時28分にスタート、緩やかなアスファルト道を上り、まずは栃谷登山口をめざします。前方に鳥居が見えてきて、岩肌の上に小さな社がありました。道端に黄色のコスモス、朱が鮮やかな彼岸花が咲いていて、秋の気配を感じさせてくれました。9時53分、栃谷登山口に到着。水分補給の小休憩です。



# 登山口～栃谷尾根コース～猪・鹿捕獲罾～栃谷園地休憩所～祠

登山口から栃谷尾根コースに入ります。まだアスファルト道で、少し上ったところに「イノシシやシカを捕獲する罾があります。注意してください。相模原市鳥獣等被害対策協議会」と書かれた立て看板が出てきて、近くに罾が仕掛けられていました。登山口から600m歩いてきたところで彼岸花の群生、黒い蝶が蜜を吸っています。栃谷園地休憩所で一息入れて水分補給。少し上って民家の庭先の道を通り、急峻な山道に入ります。この集落の守り神でしょうか屋根付きの祠と石碑が立っていました。大分高度を上げてきたところで、南西の方向に雲がかかった山並みと小さく民家が見えました。



## 茶畑～急峻な土の上り道～陣馬山へ1.1km地点で4回目の小休憩

急峻な斜面に緑一面の茶畑が広がってきました。点在する民家もここまで、茶畑を抜けるとさらに急峻な土の上り道になりました。上りきったところで小休憩、その先に道標があり、登山口から600m歩いてきて、陣馬山まで2.2kmとなりました。緩やかな上りから平坦な尾根道へ、平坦な道のありがたさ、足取りが軽くなりました。「陣馬山へ1.6km」、「陣馬山へ1.4km」と順調に歩を進めます。緩やかな上り道から平らなところに出て、「陣馬山へ1.1km」地点へ。大分汗をかいてきて、この日4回目の小休憩、水分補給と甘いお菓子やゼリーの差し入れがありエネルギーチャージ。



## つづら折りの上り～高尾陣馬縦走路へ合流～11時39分 陣馬山(標高855m)

再び急登、ここが踏ん張りどころ。高津佐さん、長いストライドでグイグイと登って来ます。「陣馬山へ0.9km」の道標、陣馬登山口から4.1km歩いて来て山頂まで1kmを切り元気が出ました。勅使河原さん、黙々と上って来ます。つづら折りの上りが続き11時18分、5回目の小休憩を取り呼吸を整えます。「陣馬山へ0.4km」の道標を通過して「陣馬山へ0.2km」の道標へ、ここから道が平坦になりました。「陣馬山へ0.1km」の道標のところで高尾陣馬縦走路へ合流、少し上って11時39分、白馬のモニュメントが待つ標高855mの陣馬山山頂へ到着。白馬のモニュメントの前で集合写真を撮影しました。



## 陣馬山 12時30分～木段の和田峠コース～12時48分和田峠 (標高690m)

集合写真を撮り終えたら、気象情報より早く雨が降ってきました。富士山をはじめとした大パノラマは幻となり、山頂直下の雨をしのげる信玄茶屋に入り、なめこ汁などを注文してテーブル席での昼食タイムです。白馬モニュメントの山頂には人影がありません。昼食を済ませても雨やまず、レインウェアに着替えて集合写真を撮影。12時30分、熊坂サブリーダーを先頭に下山開始。今回、陣馬新道コースの山道でなく和田峠コースのほぼ木段での下山でしたので、雨の中でしたが安全に下りることができました。60歳標準コースタイム20分のところを、健脚のみなさんは18分で和田峠に下りてきました。



## 和田峠12時56分～13時50分 陣馬高原下バス停(標高330m)

和田峠の標高は690m、道標の「生藤山・醍醐丸方面」へ進めば、神奈川ウォーキングクラブで10年前に歩いた「関東ふれあいの道富士見のみち」。生藤山の標高は990m、リーダーは熊坂さんでした。小休憩をして12時56分、3.7km先の陣馬高原下バス停をめざします。自動車道の陣馬街道を下り、30分ほどで陣馬新道の分岐まで下りてきました。雨は大分小降りになり傘をささなくても良いほどです。最後尾は、笑顔の勅使河原さんといつもみんなを見守ってくれる山田サブリーダー。13時50分、標高330mの陣馬高原下バス停へ、予定より30分早く下山しました。歩数は1万6000歩、距離は10km。バスの発車時刻まで時間があるので、茶屋に入って一息入れる人やバス停前のベンチで談笑する人などゆったりモードです。バスは1時間に1本、14時42分発のバスで高尾駅への帰路となりました。



(市村記)